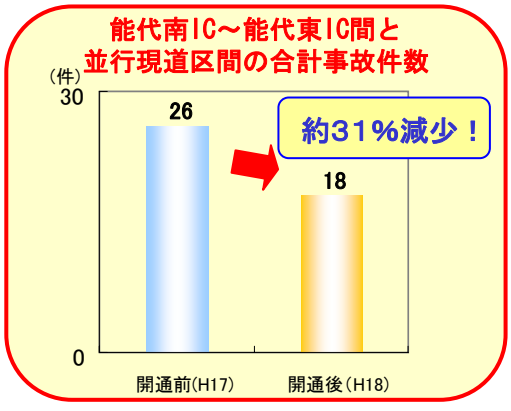
資料　1

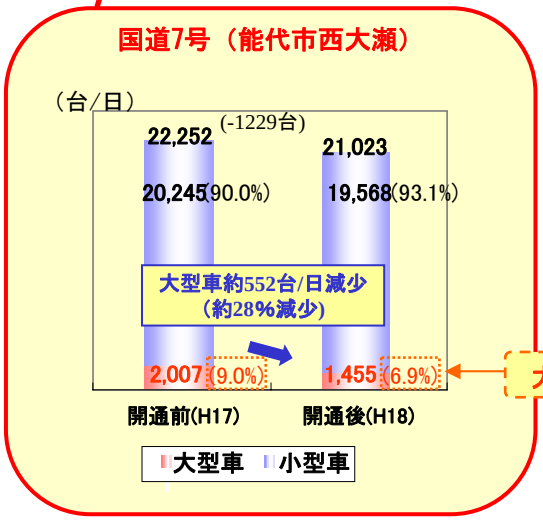
1．事故件数の減少

○今回供用した能代南IC～能代東IC間と、並行する国道7号を合わせた死傷事故件数が、約31%減少(26件→18件)しています。(H18事故件数内訳:国道7号(18件),琴丘能代道路(0件))
これは、琴丘能代道路開通後、884台/日の大型車が琴丘能代道路を通行するようになり、並行する国道7号を通行していた大型車が約28%(552台/日)減少し、大型車混入率が約2.1%減少(9.0%→6.9%)している事から、長距離トラックなどの通過交通が琴丘能代道路に転換し、一般生活交通との分離が図られ、交通渋滞の軽減など、交通環境が改善した結果と推測されます。

■ 大型車交通量が減少による事故の減少

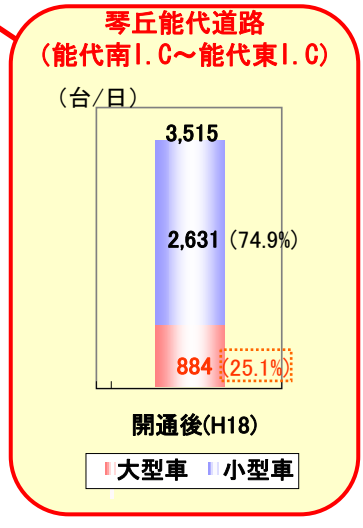






大型車混入率

長距離トラックなどの通過交通が琴丘能代道路へ転換！



※交通量観測データ （開通前：H17.7/29～H18.1/31 開通後：H18.7/29～H19.1/31）
※交通事故データ　（開通前：H17.7/29～12/31,開通後：H18.7/29～12/31）